

# カミノトピックス



8月の行事  
夏休みの宿題

## スイーツの名所が千歳に！！

スイーツブームはとどまる所を知りませんが、厳しい業界の中おいし〜いお菓子、ケーキ、チョコレートなどを製造し、業績を伸ばしている株式会社ケイシイシイ様をご紹介します。

本社は、千歳臨空工業団地（千歳市泉沢）にあり、第二工場も近くにあります。「お菓子の総合プロデューサー」で、全国的に有名な「寿スピリッツ」のグループ会社として、平成8年に「株式会社コトブキチョコレートカンパニー」という社名でスタートし、平成11年に、今の「株式会社ケイシイシイ」と商号を変更したそうです。スイーツ好きの方ならご存知のことと思いますが、「小樽洋菓子舗 LeTAO（ルタオ：フランス語で「Le Tour Amitie Otaru=小樽の親愛なる塔）」は、(株)ケイシイシイ様が運営しており、お客様の為に心を込め、北海道の厳選された食材を使用し「おいしい」にこだわり、一つ一つ手作りされたお菓子、ケーキはもうたまりません。LeTAOの近くには、チョコレート専門店「LeChocolat（ル・ショコラ）」もあり、札幌にも2店舗あります。さて、私のお勧めはチーズケーキの「ドゥーブルフロマージュ」。イタリアのマスカルポーネのレアチーズを重ねて作られ、まろやかで奥深いコクのある味わいが楽しめます。



小樽洋菓子舗「LeTAO」外観もロマン調で小樽の町並みにマッチしており、最上階は展望台になっており、運河を望むことができます。



LeTAO 開店以来、定番人気の「ドゥーブルフロマージュ」。二層になったチーズケーキは抜群のおいしさ！

他にも期間限定のスイーツも見逃せません。

8月9日には「スイーツをもっとわがままに楽しみたい」をコンセプトにした「Doremo LeTAO（ドレモルタオ）」が千歳の朝日町6丁目にオープンします。お店は、「最高の素材をふんだんに使用したケーキ・お菓子・チョコレートのお店」、「お菓子作りのノウハウを活かしたパンのお店」、「おもいきりスイーツを楽しみたい人のためのカフェ」この3つのゾーンに分かれているそうです。千歳に新たなスイーツの名所ができ、多くの方が千歳に来ていただけることでしょ。

「メタボ」な体を気にしながら、今から楽しみにしている私です。

談：E7・岡田

## 自然の驚異

7月16日午前10時13分頃、新潟県にマグニチュード6.8規模の地震が発生しました。3年前にも同様の地震に見舞われた新潟県です。TVを見ていると被害にあわれた方が「3年前にもあり、またいつかくるかもとは思っていたけど、こんなに早くにくるとは・・・」という声も聞かれました。「天災は忘れたころにやってくる」とはまさにこのことだと実感しました。北海道でも頻繁に地震が発生しており、「次は・・・」と思われることと思いますが、災害は決して地震ばかりではなく、最近は天候による災害も増えています。改めて災害に対する「防災」について考えなければいけないときかもしれませんね。

今回、コクヨの防災に関するグッズなどをご紹介します。

食料や水などの確保をされている割合はかなり高いのですが、遅れがちなのは人間的防災・危機管理と言われています。グッズばかりではなく、用意や対策についてお役に立つカタログもありますので、是非お問合せください。

最後に、震災にあわれた皆様に、心よりお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈り申し上げます。



### 災害時は何が起きて、何が必要か？

| 地震発生時  | 発生直後  | 初期活動  | 復旧活動  |
|--|---|---|---|
| <p>揺れが激しい。家具が倒れる。窓ガラスが割れる。エレベーターは停止する。</p> <p>揺れが収まった後、火災やガス漏れを確認する。</p> | <p>揺れが収まった後、周囲を確認し、安全な場所へ避難する。</p> <p>怪我や火災を確認し、必要に応じて救助を求める。</p>   | <p>避難場所での待機や、必要な物資の確保。</p> <p>家族の安否確認や、連絡手段の確保。</p>                         | <p>避難場所からの帰宅や、被災地の復旧活動への参加。</p> <p>生活の再建や、心のケア。</p> |
| <p>緊急避難セット（防災の達人）<br/>緊急参集に必要な厳選アイテムをコンパクトな2ウェイバッグにセット。</p>              | <p>避難キット<br/>避難用食糧<br/>避難用飲料<br/>避難用寝具<br/>避難用トイレ<br/>避難用タオル<br/>避難用マスク<br/>避難用手袋<br/>避難用靴<br/>避難用帽子<br/>避難用傘<br/>避難用懐電<br/>避難用ラジオ<br/>避難用携帯電話<br/>避難用現金<br/>避難用貴重品<br/>避難用貴重書類<br/>避難用貴重写真<br/>避難用貴重おもちゃ<br/>避難用貴重ペット用品<br/>避難用貴重ペット<br/>避難用貴重植物<br/>避難用貴重動物<br/>避難用貴重昆虫<br/>避難用貴重魚類<br/>避難用貴重鳥類<br/>避難用貴重哺乳類<br/>避難用貴重爬虫類<br/>避難用貴重両生類<br/>避難用貴重菌類<br/>避難用貴重植物<br/>避難用貴重動物<br/>避難用貴重昆虫<br/>避難用貴重魚類<br/>避難用貴重鳥類<br/>避難用貴重哺乳類<br/>避難用貴重爬虫類<br/>避難用貴重両生類<br/>避難用貴重菌類</p> | <p>初期活動・帰宅支援<br/>避難場所での待機<br/>避難場所からの帰宅<br/>被災地の復旧活動<br/>生活の再建<br/>心のケア</p> | <p>復旧活動<br/>被災地の復旧活動<br/>生活の再建<br/>心のケア</p>         |

## 雨にも負けず、年にも負けず！

7月14、15日の両日、日本列島を台風が猛威を震っている中、「天気予報では北海道は曇マークだから大丈夫だべ」と言う父の一言でお気楽家族5人（父51歳、母45歳、長男大学1年、次男中2、三男小5）で内浦湾（噴火湾）沿いにある豊浦町の「豊浦海浜公園キャンプ場」に行ってきました。毎年非常に混むので朝6時30分に出発し、車中「混んでいたらそうする！？」なんて話をしているうちに8時30分には現地到着。着いてびっくり。100張ほどのテントスペースには、10張しか張ってなく選び放題。天気があればスペース確保が大変だったのに……。しかし、あまりの寒さと強風なのでテントは立てず朝食の準備。この日は、終日天気は回復せず、いつもなら炭3kgですむところ今回は9kgも使ってしまった。今回はあまりの寒さにお酒も進まず、焚き火をして何かを食べているか、カニ釣りをしているか、花札で季節や花の勉強(!?)するなど、キャンプらしからぬキャンプでした。夜は9時就寝、朝5時に目を覚ますという健康的な1日でしたが、天気は霧雨模様……。早々に朝食をとり、雨に追われるように帰路に着きました。

さて、この豊浦海浜公園キャンプ場は我が家では日本一のキャンプ場だと思っています。その理由とし、その1. 4年前に開設し、砂浜の真後ろの芝生にテントが張れるので、海水浴、砂遊び、カニ釣り、魚釣りが家族の目の届くところにあるので、小さいお子様連れには安心して遊べるところである。その2. 我が家は全員が虫嫌いで、ここは夜になって蚊がほとんどこないの、刺される心配があまりない。その3. 洋式トイレがあり、炊事場もシャワールームもNPOの方々が毎朝掃除をしてくれているので、清潔である。（多分……。我が家より間違いなくキレイです！）その他にも、「天然豊浦温泉しおさい」が隣接しており、藤原紀香似を自称する(!?)わが妻は500円を握り締めて癒されに行きます。海に飽きたら、車で5分くらい行くと噴火湾展望台公園があり、展望台からは噴火湾が一望でき、公園には大型ローラー滑り台や36ホールのパークゴルフ場もあります。今年はリベンジをかけてもう一度行ってみたいと思っています。子どもたちと年々、ゆっくり自然の中で家族が集うことも少なくなってきました。年に数回だけでも、文明の域を離れ自然の中で「何が大切なことなのか」を考えるにはいいかと思っています。

今年のキャンプは何処に行こうとお考えの方。お勧めスポットです！一度だまされたと行って行って見てください。来年は間違いなく誰かを誘ってみたいくなります。

談：E7・田中



豊浦海浜公園キャンプ場。我が家のように仲間がおりました。とにかく、施設の充実さとキレイさは抜群です。



展望台。あいにくの雨模様でしたが、噴火湾が一望。晴天の時は、爽快です。

## 将来を学ぶ・・・

今年も北陽高校生男子1名がインターンシップ研修を体験していただきました。「インターンシップ」とは学生が一定期間企業等の中で研修生として働き、自分の将来に関連ある就業体験を行える制度です。平成生まれの爽やかで若さあふれる研修生でした。私たちも、未来の立役者に貢献したく、今後も見守りたいと思います。同行した際、快く対応して下さったお客様、ありがとうございました。

それでは、研修生・山根君より・・・

『皆さんに親切にいただき、温かく迎えてくださり、大変楽しい経験をさせていただきました。営業の実習で、小中学校や高校、他にも病院や企業なども訪問させていただきました。大変緊張しましたが、名刺交換などをしました。3日間という短い期間でしたが、この経験をこれからの生活に活かしたいと思います。ありがとうございました。』 活躍を期待しています！



## 自分スタイルの勉強を見つけませんか

千歳市内の小中学校では千歳科学技術大学開発のシステム「eラーニング」を使っている授業が増えてきています。子どもたちはパソコンを使うことに慣れおり、抵抗もあまり無いし、大学生のサポートもあるので、楽しい授業が行われているそうです。

今回ご紹介するのは「eカレッジ」です。「eラーニング」とは多少の違いはありますが、千歳科学技術大学と、地元中学校や高大連携校の先生方とで作成されたシステムで、インターネットが使える環境であれば、誰でも使えます。



年齢も関係なし！千歳ではないし、時間もあまりない・・・勉強するには何を揃えればいいのか？、でも、勉強しなければいけないとは思っているだけ・・・等などとお考えの方は、一度下記のアドレスにアクセスしてみたいかがでしょう。コースも選択できるようになっています。インターネットが身近になった今、新しい自分スタイルの勉強方法ではと考えております。お試しください！

アドレス <http://wbt.hello-chitose.jp/el>

子どもに「何でできないの！」と小言の母……。子供が席をはずした時にお試し……。習ったかしら……。忘れてるだけ！？。私も勉強した方がいいかもと感じた瞬間でした。

2007年 7月31日 VOL. 25

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp